

各位

ケイティケイ株式会社

(コード3035 東証JASDAQスタンダード)

ケイティケイ 来週発表予定の連結上半期の業績予想を上方修正

営業利益・経常利益・四半期純利益で上場来最高益を見込む。

リサイクルトナーの製造と直販を主とするケイティケイ株式会社（東証 JASDAQ、本社：愛知県名古屋市東区、代表取締役社長 土岐勝司）は、2018年8月期第2四半期連結累計期間（2017年8月21日～2018年2月20日）において、増収増益となる見込みです。

その主な理由は、事業計画である『ktk アドバンスドプラン Ver. 2』を強力に推進した結果、営業効率のアップと営業量の拡大により売上高が増加し、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益においては、原材料費の削減による製造コストの削減や調達コストの削減等により、2006年4月の上場来最高益となる見通しです。

◇過去5年間の第2四半期連結累計期間の業績推移 (単位：百万円)

	2014年8月期 第2四半期	2015年8月期 第2四半期	2016年8月期 第2四半期	2017年8月期 第2四半期	2018年8月期 第2四半期 (予想)
売上高	8,557	8,528	8,355	8,215	8,342
売上総利益	1,670	1,654	1,708	1,677	1,703
営業利益	△80	△64	92	125	147
経常利益	△70	△53	109	154	170
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△75	△40	71	118	121

以上